

資料3

企画コンペ提案作品等仕様書

1 提案の条件

コンペ参加者は、「資料1 企画コンペ実施要領」を確認の上、本仕様書により必要な書類を作成し、提出するものとする。

提案作品は、今後使用することを前提とするが、山梨県（以下「県」という。）の広報上の方針等により修正・変更する場合があるので、後日、県と受託者として協議する。

なお、提案作品は、1事業者につき1提案とする。

2 提案作品等の制作方法

(1) 企画提案書

所定の様式（A4判縦・片面印刷・全4ページ）を使用し全ての項目を記載する。

ページ数を加減しない。

各項目は既定のページに収める。

左上1カ所をステプラーで留める。

審査の公平性を確保するため、会社名等を一切表示せず、樹脂製の透明カバーなどは装着しない。

(2) 提案作品

提案作品の規格：

全7ページ（フルカラー・カンブ）

表紙はB5判縦で1枚、その他のページはB4判横（各2ページ/枚）3枚をダブルクリップ留め

審査の公平性を確保するため、会社名は一切表示せず、樹脂製の透明カバーなどは装着しないこと。

提案作品の内容：

「（別紙1）地域PR誌面構成（案）」中の表紙、特集（4ページ分）、コンペ参加者提案企画（1）（2ページ分）の提案。

山梨県の地域PR誌であることが容易に連想され、山梨らしさが出ていて興味を引き、手にとってもらえるようなインパクトのあるタイトル名の提案

県外者に向けて山梨の魅力をより効果的に情報発信することを目的とした配布予定先の提案

広聴広報課で約3,000部配布先を指定（別紙2のとおり）

その他留意事項

（ア）提案は全て、企画提案書等に記載すること。

（イ）提案は1事業者につき1提案とし、提出後の変更・加筆等は一切認めない。

（ウ）見出し・レイアウトは自由。

（エ）新規発行にふさわしい、これまで県が発行している広報誌とは異なるビジュアル

アルを重視した斬新な形のものを提案すること。

(オ) 県外者に山梨への興味を抱かせ、来県や移住などにつながるような内容とすること。

(カ) 掲載する写真、イラストなどの素材は、提案会社で手配でき、実際に使用可能なものであること。

(キ) ページ番号は表紙・裏表紙を除き通し番号とし、各ページの下部に印字すること。

(3) 見積書

制作・編集・印刷・配送業務の実施に要する費用の内訳(項目、数量、単価、金額等)を明らかにした見積書を提出すること。

なお、別紙3に示す費用の内訳項目に基づき作成すること。

見積書については、積算した金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって見積額とする。コンペ参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、積算額の100分の108に相当する金額を見積書に記載すること。

3 提出部数

- (1) 企画提案書 1部
- (2) 提案作品 10部
- (3) 見積書 1部

4 提案作品の審査項目

- (1) 訴求力(効果的に写真を多用に使い、ビジュアル面から読んでみたいと思わせるPR誌となっているか)
- (2) 分析・企画力(今までにない切り口から、テーマについて詳細な研究・分析がなされ、読者に訴えるものがある内容となっているか)
- (3) 筆力(企画内容にふさわしい豊かな文章表現により、読者が読みやすく、面白いと感じるものになっているか)
- (4) 編集・レイアウト力(効果的な写真の配置など、洗練されたレイアウトになっているか。誌面全体として統一を出す工夫があるか。)
- (5) 業務実施体制(編集・制作を担当する専属のスタッフを配置できるなど、業務を円滑に遂行できる体制となっているか。また配布先は戦略的なアプローチに基づき開拓されているか。)
- (6) 地域情報の収集力(冊子に使用する画像等は蓄積されているか、取材協力を得るための地域ネットワークは網羅されているか。)